



10号墳玄室と側室

利根・沼田地区の群集墳③
奈良古墳群で最古の10号墳

◎所在地
沼田市奈良町110
○写真提供・取材協力
沼田市教育委員会

今回も引き続き奈良古墳群を紹介する。薄根川右岸の河岸段丘上に残された古墳時代終末期の群集墳。直径10～15メートルほどの小規模な円墳の集合体でありますながら、県古墳が造られていました。奈良古墳群は東側から徐々に西側へ広がっていましたと考へられています。10号墳は同古墳群の中でも最も古い建築式石室の形狀といふべきです。実はこの古墳、極めて希少な石室構造をしているのです。横穴式石室の幅が同じく内部へ入つてみると、羨道から玄室まで幅が同じく玄室内は大人が立てるくらいの高さがある。4枚

10号墳玄室と側室

利根・沼田地区の群集墳③

奈良古墳群で最古の10号墳

10号墳

10号